

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）



労働者健康安全機構 **新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

ドイツ、恩師と私

副院長・脳神経外科部長 柿 沼 健 一

私の父は戦時下に高等教育を受けた。そのためドイツには特別の思い入れがあった。その息子がドイツ最良にならない道理はない。

安積高校に進学すると、白皙紅顔の同級生どもと幼い自説を披瀝し合っては、専ら芸術に親しんだものである。ドイツにはバッハが指揮をした教会があり、ベートーヴェンが苦悩した石畳の路地があり、そしてブラームスが憂愁に沈んだ家がある。トーマス・マンが思索した菩提樹の並木があり、ヘッセが散策した深い森がある。嗚呼、憧れはドイツ。

その憧れは、一人の高名な科学者の姿となって私に前に具現化した。フリードリッヒ・ツイビーツ教授。1996年、ローマの学会でのことである。

先生は私の演題の座長をなさった。会場では黒のアタッシュケースを持ち、背筋を伸ばし、カツカツと一直線に歩くその足音にまで意志の力が漲っているようであった。

そして終世に亘る師弟関係を結ぶことになろうとは、このときは思いもよらなかった。人の世の縁というものであろうか。

1997年ベルリンでまたお会いし、1998年文部省在外研究員としてハンブルクで、1999年フランス・ナンシーで、そして2000年には招待講演で先生が来日された。この折は拙宅に一週間ご滞在、当院でドイツ文化や美しい町並みについて講演されたことを覚えておいでの職員もおいでであろう。

私もまた先生にお会いするために、その後も繰り返し訪独している。



（ハンブルク 何度先生と歩いたことであろうか、その美しい町並み）

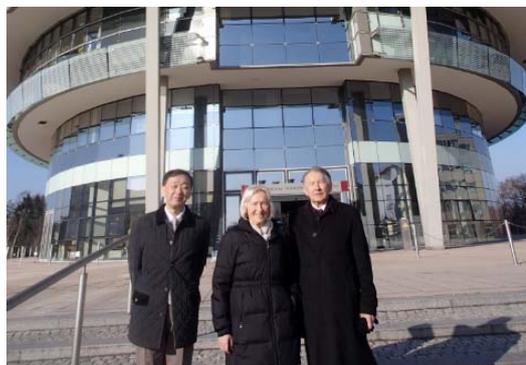
手紙の交歓も歳月を重ねて膨大な量となった。

いつも書き出しは、**Sehr geehrter lieber**（拝啓 愛する）**Dr. Kakinuma**、締めくくりは、**Ihr**（あなたの）**Friedrich Zywietz**とされる。

東日本大震災の朝の電話は、いつもとはまったく異なる口調で始まった。「ドイツからツイーツだ。」「現在まで行方不明数千人、津波その他、大惨事です。」という私の言葉を遮って「そのような事は問うていない。君と家族が無事なのかだけを問うている。」……恩師の厚情に思わず落涙してしまった。

私にとって先生はドイツ知識人の実相、典型である。正確無比、論理的帰結、倦怠の排除、不撓不屈、その礼節秩序。先生の百学連環、博覧強記に裏打ちされた語りは、森羅万象に諧謔とユーモアを交えつつ、熱風をはらんで重々しい響きを帯びて運命の鉄槌のように聞こえてくる。私は五感を全開にして、身を委ねるのみである。そうすると懶惰で横着な自分自身に錘がついて、自身の輪郭が形作られるように落ちついてくる。精神というものが、知性による判断の錬磨であり、その持続であることを繰り返し思い知らされる。

先生には数年来、再々ドイツへのお招きを頂戴していたが、多忙を理由になかなかお受けできないでいた。しかし佐藤洋輔先生のドイツ・ハノーファーに在る世界屈指の脳外科施設へ留学（写真右）は先生の厚誼を得て完遂されたものである。そのお礼をなんとしても直接申し上げたく、漸くこの3月に訪独した。先生は両手を大きく広げて、待っていたぞと出迎えて下さった。そのまま細やかに隅々まで彫琢された大歓待を頂戴した。その一つ一つを紹介するには紙幅に余裕も無いので、それらは私の心のうちにとどめておくことにする。



（佐藤先生撮影。彼の留学先）

宝石のような時間は瞬く間に過ぎ去るものである。帰国の日、空港まで見送ってくださった時には、残された一刻一刻を惜しむように語りあったが、いよいよ出発の時間が迫ると、先生は無口になられた。それではそろそろまいりますと小声で言うと、今回も先生の青い目が涙で溢れんばかりとなった。「私の気持ちをごどう申し上げたらよいか」と滂沱の涙のうちに何とか言葉にしたが、恩師は、「わかっているから」とだけ仰った。



この20年を回顧すれば、先生にお会いできたのは天啓天佑であった。その方に長きに亘って師事できることこそ、まさに人生の欣快であると言える。

（敬愛してやまない我が恩師は今年傘寿を迎えられる）

最近話題の免疫チェックポイント阻害剤とは？

薬剤部長 高橋 浩子



近年の抗がん剤治療はめざましい発展があります。10年ほど前までは殺細胞性（細胞が分裂して増える過程に作用する）抗がん剤が主流であり、進行・再発癌においてはその延命効果は限られたものでした。

ここ数年は、分子標的薬（がん細胞に存在する特殊な物質をピンポイントで攻撃する薬）といわれる新しいタイプの抗がん剤が次々と発売され、延命期間も大幅な延長が見込めるようになりました。そして2014年には、まったく新しいタイプの免疫療法的一种である免疫チェックポイント阻害剤が発売されました。

ヒトはがんに対しても免疫を持っています。免疫とはその言葉のとおりで「疫（細菌やウイルスなどの病原体）」を「免れる」力です。免疫細胞は日々がん細胞を排除し、がんの進行を抑えようと頑張っています。しかし残念ながら、がんが進行するという事は、免疫細胞が一日で排除できるがん細胞の数より、がん細胞が一日で増える数の方が多くなってしまったということです。つまり、“がんの増殖力”が“免疫力”に勝ったということで、この差の分だけががんが進行してしまいます。

また、免疫細胞には免疫の暴走を抑える「免疫抑制」という仕組みがあります。これは免疫細胞が自分の正常細胞まで破壊したりしないようにするためです。つまり、「免疫抑制」の仕組みは、私たちが免疫力を正常にコントロールして、日々健康に過ごす上で欠かすことの出来ない大切な働きなのです。しかし、がんは「免疫抑制」の仕組みを悪用します。「免疫抑制」を促す物質（免疫抑制物質）や細胞（免疫抑制細胞）を増やして、「免疫抑制」を異常なレベルまで進行させるのです。その結果、免疫細胞の増殖や活性を高めることが難しくなり、免疫力でがん細胞を排除する力が、がんの増殖力に追いつかなくなるのです。この免疫抑制を解除するのが免疫チェックポイント阻害剤です。

この薬は日本を代表する免疫学者である本庶佑氏が、免疫細胞が持つ「PD-1」という役割の不明なたんぱく質をみつけ、その働きを解明したことにより生まれました。現在、この薬は「根治切除不能な悪性黒色腫」「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」に使用可能となっています。今までにない画期的な薬ではありますが、高価であること、免疫過剰による副作用などがあることからがんの専門医の下で使用されるべき薬となっています。



よろしくお願ひします！（新任医師自己紹介）

第3外科部長 丸山 智 宏



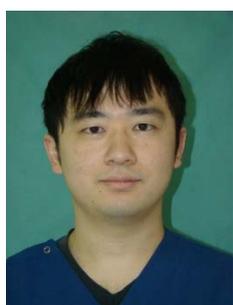
4月より新潟労災病院外科に着任しました丸山智宏と申します。出身は上越市の高田で、平成17年に弘前大学医学部を卒業後、2年間の初期研修を経て、新潟大学第一外科に入局致しました。その後は新潟大学やその関連病院で消化器・一般外科として勤務を行っています。外科的治療が必要な患者さんのために、少しでもお役にたてればと思っています。慣れない間はご迷惑をかけることも多いと思いますが、よろしくお願ひ致します。

第2脳神経外科部長 佐藤 洋 輔



脳神経外科の佐藤洋輔と申します。このたびは約7年ぶりの再任となります。これまでの勤務施設で勉強してきたことや海外留学経験を活かして、微力ながらお役に立てるよう頑張ります。みなさんと協力して創造的かつ高度な医療を実践していけるよう努力する所存であります。今後ともご指導とご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

整形外科医師 辻 村 良 賢



はじめまして。4月から新潟労災病院に赴任しました辻村良賢と申します。出身は山口県周南市で産業医科大学を卒業し、今年で医師6年目になります。山口県下関市の関門医療センターで初期研修を2年行い、その後は福岡県北九州市の病院で働いてきました。新潟県に来ることは初めてで緊張していましたが、優しい人が多く楽しく仕事できています。まだまだ未熟であるため、ご迷惑をかけることが多いとは思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

臨床研修医 笹 川 香 織



初期研修医1年目として4月よりお世話になっております笹川香織と申します。2006年から2009年まで約3年間、歯科医師として新潟労災病院麻酔科で研修させて頂いておりました。その時、この病院の先生方に魅せられ医学部再受験を決意し、この春富山大学を卒業、7年越しの夢が叶いました。一日も早く患者さん、先生方、スタッフの方々に信頼していただける医師になるよう努力してまいりますので、ご指導よろしくお願ひ致します。



はじめまして、歯科研修医の津川晶紀です。新潟大学歯学部出身で、新潟大学医歯学総合病院の研修プログラムで4月から半年間、新潟労災病院歯科口腔外科・口腔インプラント科で研修させていただくことになりました。残りの半年間は新潟大学病院の歯科口腔外科で研修させていただくことになっております。地元は栃木県足利市で、主な趣味はフットサル、ゴルフなどですが、運動は何でも好きです。皆様にはご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが何卒宜しくお願い致します。

「看護の日」記念イベントのご案内

ナイチンゲール生誕の5月12日を含む5月8日(日)から5月14日(土)が看護週間です。看護週間は「思いやり、支え合い、命の大切さ」をコンセプトに、いつでも、どこでも、だれにでも、「看護の心をみんなの心に」広く普及することを目的としています。

申し込みは不要です。多数の参加をお待ちしています。

院内イベント 5月12日(木)

10:00～12:00 (正面玄関ホール)

専門外来の紹介ポスター 骨粗鬆症・健康相談
イベント「シップの貼り方」

13:30～14:30 (3階会議室)

講演「認知症予防」

認知症とその予防法や、心配なことや困ったことについて、当院の認知症看護認定看護師がお話しします。患者様ご家族、近隣の皆様、どうぞご参加ください。

14:30～15:30 (正面玄関ホール)

幼稚園児合唱 “可愛い歌声をお届けします”
笑み筋体操 “笑顔の筋肉を一緒に動かしましょう”
手品 “すてきな手品を楽しみましょう”



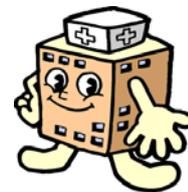
癒しの写真展 5月9日(月)～5月20日(金)

2階ギャラリー展示

“写真で思いやり、支え合い、命の大切さをあなたに送ります”

お問い合わせ：〒942-8502 新潟県上越市東雲町1-7-12
新潟労災病院 看護部 丸山 恵
電話 025-543-3123

3月8日に糖尿病教室を開催しました。
48名の大勢の方にご参加いただきました。
ありがとうございました。
次回は、6月9日に開催予定です。



笹川医師の
挨拶



土屋臨床検査技師
検査のお話し

佐藤理学療法士の
体操



糖尿病教室のご案内

日時：6月9日（木） 14:00～15:00

場所：新潟労災病院

3階 会議室1, 2

- 糖尿病のお薬について
薬剤師 二ノ倉 浩之
- 血糖値をめぐる食べ方 ウソ・ホント？
管理栄養士 平田 雅子

当日はどなたでもご参加いただけます。（参加費 無料）

この機会に生活や食事習慣を見直してみましよう

★たくさんのご参加をお待ちしています★



お問い合わせ

新潟労災病院 医事課 篠沢

電話 025-543-3123

新潟労災病院の理念



“働く人の健康を守り、地域の急性期医療に貢献します”

新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 地域の急性期医療を担当する高機能病院として、救急医療を行います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

急募 MSW(嘱託職員)を募集しています

人間ドック／がん検診のご案内

☞ インボディ測定で身体チェック（次頁コース⑮）

インボディ測定で自分の身体の状態を把握することができます。水分量や部位別の筋肉量、脂肪量、左右のバランスなどが分かり、定期的に測定していただくことで、ご自身の健康管理のツールとしてご活用いただけます。人間ドックには検査項目に含まれていますが、インボディ測定のみ(540円)でも予約できます。ぜひ、一度インボディ測定を体験されてみてはいかがでしょうか？



☞ 乳がん検診は2年に1回受けましょう。（次頁コース⑦）

日本人女性の12人に1人が乳がんにかかると言われています。乳がんは早期に発見すれば、高い確率で完治できます。自己検診に加えて、マンモグラフィーと乳腺エコーを定期的に受けることで、乳がんの発見率は高まります。ぜひ、積極的に検診を受けて下さい。検査は女性技師が対応します。



☞ アミノインデックスによるがんリスク判定のおすすめ（次頁コース⑩）

1回の採血で多数のがんの疑いを同時に判定します。(肺・胃・大腸・すい臓・前立腺・乳・子宮卵巣がん) 疑いがあれば、次にそのがんに応じて精密検査を受けていただくこととなります。これまでがん検診を受けたことのない方、肉親にがん患者のいる方に、とくにおすすめします。

☞ 便潜血検査は、大腸がん検診です。大腸カメラなら、さらに確実です。（次頁コース④）

☞ 腹部の超音波検査で前立腺・子宮と大動脈瘤の有無をみることができます。（次頁コース⑤）

肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓だけでなく、前立腺や子宮・卵巣にも病変が隠れていないか、積極的に確認しています。

1日ドック（がんと生活習慣病の一般コース（男女共通）） 43,740円

1日ドック検査項目（お食事券がつきます）

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI
眼と耳の機能	眼底 眼圧 視力 聴力 問診 診察 情報提供と説明 指導
生理機能	胸部X線 呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液 (肝腎機能・血糖・脂質・血球・炎症反応)	総蛋白 アルブミン AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) ALP 総ビリルビン 尿酸 クレアチニン eGFR 血糖 HbA1c 総コレステロール 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値 MCV MCH MCHC 白血球数 白血球分画 血小板数 CRP 血液型(初回)
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
消化器	胃内視鏡 便潜血(2回) 超音波 肝胆膵腎+前立腺+子宮+大動脈

お手軽ドック（生活習慣の簡易コース（男女共通）） 13,500円

お手軽ドック検査項目（検査のみのコースです。医師診察はありません）

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI 問診
眼の機能	眼底 生理機能 胸部X線 血圧 心電図
血液 (肝・血糖・脂質)	AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) 血糖 HbA1c 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血

検診コースの①～⑩の検査は、ドックにオプション検査として追加することができます。もちろん、がん検診だけでも、いくつかを組み合わせるの実施も可能です。(★は1日ドック、☆はお手軽ドックに含まれます。)

がん検診コース

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
①甲状腺がん	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,100円	
②肺がん	低線量肺がんCT	9,720円	
③胃がん	胃内視鏡 ★		16,200円
④大腸がん	便潜血(2回) ★		1,620円
	大腸内視鏡(69歳まで) ドックと別日で実施	21,600円	
⑤肝胆膵臓+前立腺 ・子宮+大動脈	腹部超音波検査 ★		5,724円
⑥前立腺がん	PSA	1,836円	
⑦乳がん	マンモグラフィー撮影 乳腺エコー	9,936円	
	マンモグラフィー撮影	6,264円	
⑧子宮がん	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,320円	
⑨腫瘍マーカー	CEA CA19-9 AFP	3,240円	
⑩アミノインデックスがん リスクスクリーニング検査	男性(胃・肺・大腸・すい臓・前立腺がん)	24,840円	
	女性(胃・肺・大腸・すい臓・乳・子宮がん)		

生活習慣病予防コース

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑪頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	5,940円	
⑫肺年齢	呼吸機能 ★		3,240円
⑬骨密度検査	X線	3,780円	
⑭内臓脂肪測定検査	腹部CT	3,240円	
⑮インボディ測定	体成分分析装置(骨格筋量測定)★☆		540円
⑯睡眠時無呼吸検査	自宅で睡眠時に測定(機器貸出し)	5,400円	

その他

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑰肝炎検査	HBs抗原 HCV抗体	2,322円	
⑱HIV検査	HIV抗体	1,404円	

人間ドック・がん検診コース・生活習慣病予防コースは予約制です。

下記①②の方法でご予約下さい。

- ① お電話または医事課0番窓口にてお申し込み下さい。

電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30～16:00

- ② 人間ドック申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送またはFAXして下さい。

〒942-8502 新潟県上越市東雲町1-7-12

新潟労災病院医事課ドック検診担当 FAX 025-543-7110



散歩道



先日、娘の入学式に出席した。ドキドキしながら背中を見守る。背筋をピンと伸ばし、動かず前を向いている。緊張しているのかな？担任からの呼名に大きな声で返事ができた。同じ保育園からの友達も大きなハキハキとした返事をしていて関心した。—安心しながら手渡されていたお祝いのメッセージに目を通す。娘の卒園した園からは短く2行。「入学おめでとう。お話は目で聞きましょう。“腰骨を立てます”を忘れずに。」胸が熱くなり、涙がこぼれた。それが今の彼女の姿に重なる。子供達が素晴らしい環境で育ったことに改めて気づき、またそこを離れ、ひとりになっても実践できる力をつけていただいたのだと感謝の気持ちでいっぱいになった。子供はいつも親の予測を上回る。無限の可能性をただただじゃまをせぬよう、これからも後ろから見守っていこう。

(N・K)